

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 志賀町

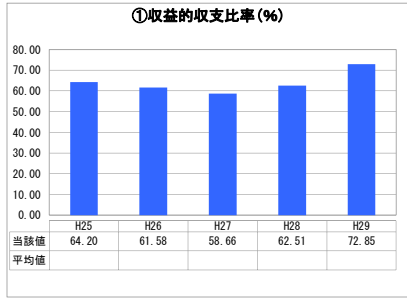
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	45.93	102.56	1,620

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,910	246.76	84.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,517	5.17	1,840.81

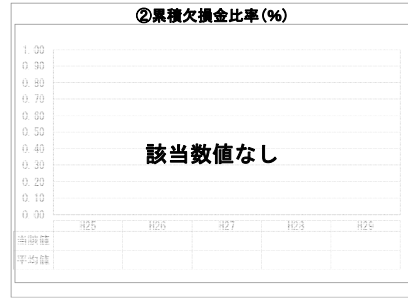
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

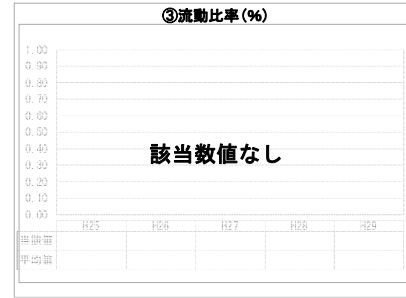
1. 経営の健全性・効率性



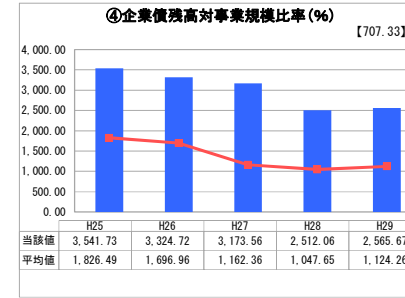
「単年度の収支」



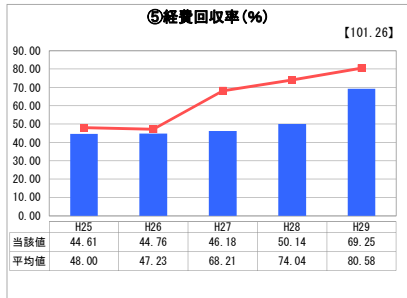
「累積欠損」



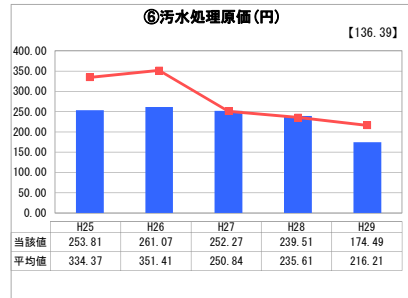
「支払能力」



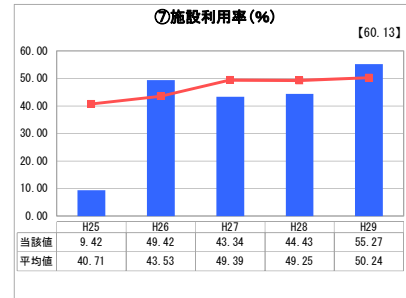
「債務残高」



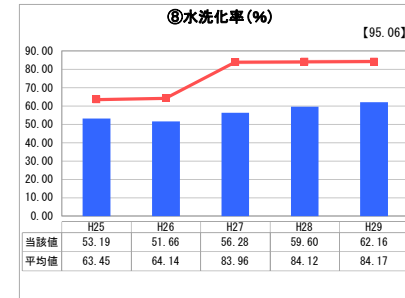
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
数値については、ここ数年増となっている。しかしながら100%を割り込んでいるため総費用（維持管理費）の縮減に努める。

④企業債残高対事業規模比率
正しい数値は、826.64となる。管路整備の完了、大規模な地方債発行を行っていないことにより企業債残高は減少傾向にある。平成30年度においては使用料の統一がなされたため比率の改善が見込まれる。

⑤経費回収率
類似関係団体平均を割り込んでいるが、前述のとおり使用料の統一による使用料収入の増加が見込まれ数値の改善が見込まれる。またさらなる汚水処理費の削減を図りたい。

⑥汚水処理原価
本事業の数値は類似団体平均値付近を維持しているが更なる経営の安定化のため維持管理費の縮減を図りたい。

⑦施設利用率
数値上は40%付近を維持している。H29は新規接続など有収水量の増加によるものである。更なる接続率の向上を図る。

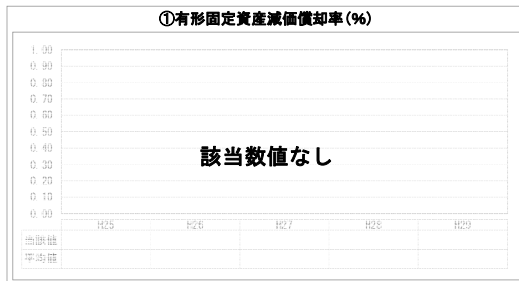
⑧水洗化率
水洗化率が類似団体平均を下回っているが、微増ではあるが毎年増加している。未接続者に対し早期接続を促し、有収水量の増大を図る。

2. 老朽化の状況について

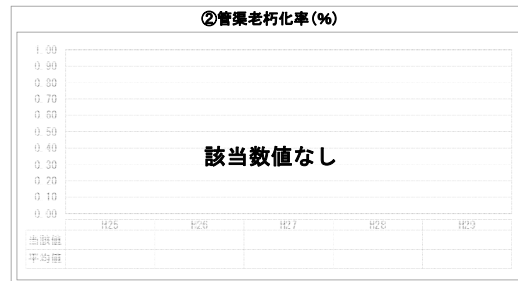
処理施設及び機械設備においては、ストックマネジメント計画の策定により、効率的なライフサイクルコストの最小化を目指す。

管路施設の老朽化については供用開始より年数が浅いことから、管の対策については未定である。

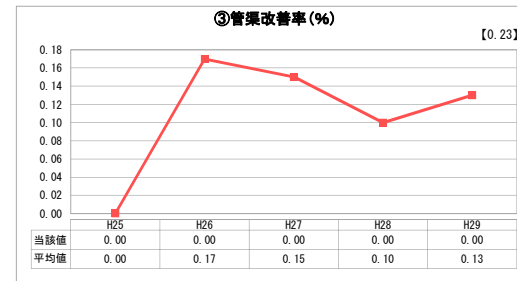
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

全体総括

公共下水道事業は平成29年度で管路整備を完了した。今後については処理場施設等の機械設備の更新が主になる。

また、経営の安定化のため有収水量を増やすべく未接続者に対し接続を促し、使用料収入の確保に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。